

コメント

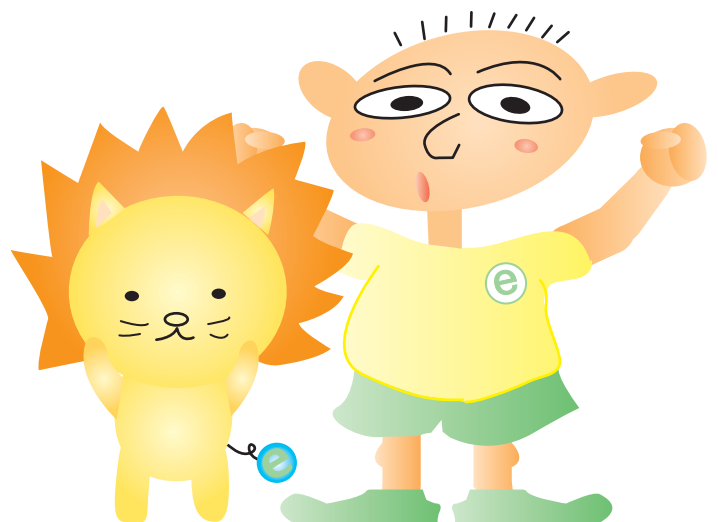
渡瀬 講師

首都大学東京 健康福祉学部 在籍

最初から「勉強が大好き」という人はいますか？
 まずは、『自分は何のために勉強をするのか』を考えてみてください。
 さい。なんでもいいと思います。
 例えば、あの中学・あの高校に行きたいとか、クラスで一番になりたいとか、親・先生に誉められたいとか・・・
 それだけで、絶対に少しは気持ちが変わると思いますよ!？
 勉強を通して、精神面も成長できるといいですね。

私は指導の中で生徒さんとの関係は勿論、お父さんお母さんとの関係も大切にしています。可愛い弟のような生徒さんに対し、お母さんにもっと厳しくして下さい。と言われたことも・・・。
 ちょうど親に対して反抗期を迎える生徒さんもあるかもしれません。それは成長していく上で当然のことです。
 そしてお父さんお母さんも生徒さんのことが心配なはずですよ。
 どんな些細なことでもお話していきたいです。

講師MVPは生徒さんと一緒に獲ったものです。
 本当に感謝してます。
 これからももっともっと頑張っていこうね!!



コメント

鈴木 講師

京都女子大学 文学部 在籍



月間MVPに選んでいただき、ありがとうございます。

ところでみなさんは“MVP”とは一体どういう意味なのか、知っているでしょうか。

実を言いますと私は何となく意味はわかっている、正確には知りませんでした。

そこで、この機会に調べてみると、MVPはmost valuable player の頭文字をとったもので、最も優秀な選手という意味だそうです。もともと野球から生まれた言葉のようですね。

このように、私はたくさんの「？」を見つけ、「！」にすることを日々の生活の中で大切にしています。

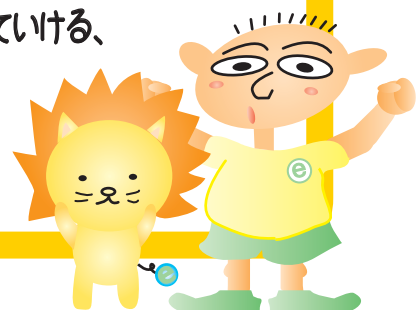
「？」について誰かに聞いたり、自分で調べたりして「そうなんだ！なるほど！」という「！」に変えること、それはすごく達成感があり、おもしろいことです。みなさんも「？」を見つけることは多いと思いますが、せっかくみつけた「？」をそのままにいませんか。…もったいない、どんな小さなことでもどんどん「！」に変えていきましょう！！

特にみなさんは勉強の場面で「？」を見つける時が多いと思います。

そんなとき「こんなこともわからないなんてはずかしい…。」とわかったふりをしたり、なかなか聞けなかったことはありませんか。私もそんなときがありました。でも、勇気を持って聞いてみると「おもしろい質問をありがとう。」と言われてびっくりしたことがあります。このように自分の「？」が相手に「！」を与えることもあるのです。実際、今指導をされていて生徒さんから何度も「？」と「！」をもらい感心させられました。

今、皆さんの周りにはご両親や友達、学校の先生、そしてe-liveの講師たちなど、たくさんの素敵な人たちがいます。思い切って「？」をぶつけて、一緒にたくさんの「！」にしていきたいです。

私自身、生徒の皆さんとこれから多くの「？」を「！」に変えて、お互いに成長していける、そんな講師になるのを目指しながら日々頑張っていきたいです。



コメント

十時 講師

早稲田大学 政治経済学部 在籍



この度は月間MVPに選んで頂きまして、有難うございます。

沢山の生徒さんを指導出来たり、日々の指導のみならず模擬試験の解説まで担当出来たりと、非常に遣り甲斐を感じる貴重な経験をさせて頂いています。

親御さんにも『子供が、先生の指導が分かり易いと言っています。』

これからも宜しくお願いします』と激励して頂いたり、スタッフさんにも様々なアドバイスを頂いたり、私自身多くの方々に支えられてこれ迄やってこられました。

実のところ、自分の指導の仕方にはあまり自信が持てず、生徒さん達が“理解する”為の支えになれているのかどうかという事を常に考えています。だからこそ分かる側からの解説ではなく、分からないという事を前提に解説を行う様にしています。

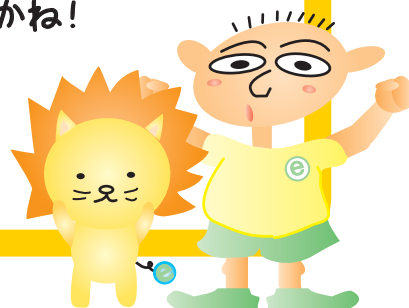
何が分からないのか、どうしてつまずいてしまっているのか、自分が中学生や高校生の時にこの問題に取り組んだとしたら何処でどの様につまずいてしまうだろうか、どの様な解説を聞けば納得がいくだろうか、という事を考えながら日々の指導に取り組んでいます。

しかしあくまで私の指導というのは生徒さんが理解に辿りつく為の足掛けなのであって、そこで重要なのは、生徒さん自身のやる気は勿論の事、講師である私と生徒さんとの間のコミュニケーションなのだろうと思います。指導の仕方のみならず、生徒さんの精神面やその他細部にまで神経を行き渡らせた有意義な時間を生徒さんと一緒に創り出していきたい、そう考えています(なかなか大変な事ですが・・・^^;)。

ある問題で苦戦していた生徒さんが自力で同じ問題や類題を解ける様になった時、私がe-live講師を始めた時から共に頑張ってきた生徒さんが受験に合格した時、生徒さんの努力が実を結んだ事に私も一緒になって喜びますし、その瞬間が本当に好きでたまりません。

そんな不安と試行錯誤、そして遣り甲斐の中で担当の生徒さんや親御さん達と共に積み重ねてきた小さな努力の一つ一つが、この様な形で評価される事を本当に嬉しく思います。

でもやっぱり一番の賞は、生徒さんの『ありがとう』という言葉ですかね！



コメント

杉本 講師

北海道大学 歯学部 在籍



こんにちわ。

月間講師MVPに選んでいただき、ありがとうございます。
いきなりの電話で最初は驚きました。

日々頑張っている生徒さん、共にたたかう生徒のご家族の皆様、スタッフの皆様のサポートのおかげです。心から感謝を申し上げます。

さて、僕はいつもe-liveの意味、価値を意識して授業に取り組んでいます。
勉強を教えることはもちろんですが、それは一人の先輩として生徒と接することではないでしょうか。ここにe-liveの本質があるのではないかと思います。

自分の小学校、中学校時代を振り返ると、自分の進む道の先、具体的には高校、大学に行っている先輩と直に接することはありませんでした。高校や大学ではどんなことをするのか、どんなことができるのか全く知らないまま、自分が何をしたいのか特に考えないままとりあえず勉強していたかんじです。

高校を選んだきっかけなんてラグビーがしたかったからということくらいです(笑)

今考えると、あの時にそんな人、先生と巡り会えていたら勉強に対する姿勢、日常の過ごし方や意識というものが少し変わっていたのではないかと思います。

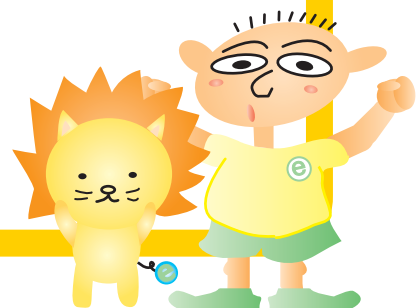
正直成績上げるためだったらガツガツ勉強させればすぐ変わるでしょう。

でも、それでは生徒はその先で行き詰まってしまいます。

それよりも生徒が自分の将来の目標、ビジョンを持ち、それに向かって能動的に勉強する力を引き出してあげることが大事だと思います。

自分の体験談をふまえていろんな話をしてあげること、また生徒の話をしっかり聞いて、何をしたいと思っているのか考えながらコミュニケーションをとることを意識して、これからも指導に励んでいこうと思います！
これからもよろしくお願いします。

Boys, be ambitious!!



コメント

原田 講師

東京大学 理科二類 在籍



この度は月間MVPに選んでいただきありがとうございます。

生徒さんに対して、このような賞をいただけるほどよい指導ができていたかは分かりませんが、僕の生徒さんに対する気持ちをここで述べたいと思います。

皆さんはまだ小中学生で、勉強以外にも部活や行事など自分が熱中する対象は様々にあると思います。

僕が大切だと思うのは、一つ決めたことを全力でやってみるということです。

そこから得られるものはたくさんあると思います。たとえば'部活を頑張りたい!'と思って、頑張った人は練習での集中力であったり、勝った時の喜び、負けた時の悔しさをそこで自分の体を持って学ぶことができるのです。

同じことが、勉強でも言えると思います。勉強するときの集中や解けた嬉しさ、結果がでない悔しさ、これらのものは自分の体を持って学ばないと実感しづらいものなのです。

今はまだ小中学生、これらのことを味わう大切な時期です。

十分に体験したら、中学3年生での受験、それから高校へと勉強の面でいい結果を残せるのではないのでしょうか。

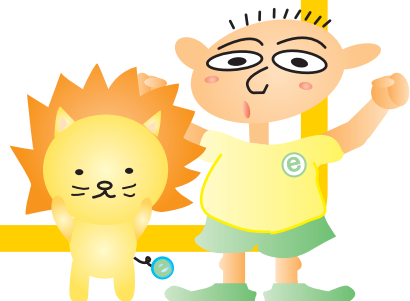
勉強が嫌いな子は、嬉しさや悔しさといったものを感じることが少ないのではないかと思います。

勉強にたいしてこういった感情を抱けるか、上に行きたいと思えるか、それ次第で勉強に対する気持ちは変わってきます。

このように何か熱中できることを見つけることは、勉強にも役立つのです。

是非皆さんには、自分が真剣に取り組めるものを見つけて頂きたいと思います！

短い文章ですが、最後までお読み頂きたありがとうございました。



コメント

河杉 講師

東京大学 理科一類 在籍



このたびは講師MVPに選んでいただきありがとうございます。

この時期は受験期まっさかりで生徒の緊張も手に取るように伝わってきます。そんなとき私たち講師がすべきことは二つあるように思います。

まずはもちろん志望校に合格できる学力をつけるための指導をすることです。生徒の志望を叶えてあげることが家庭教師の最終目標だと思います。

もうひとつは私が最も気をつけていることなのですが、生徒にとって信頼できる存在でいるということです。

今私は主に中学生をうけもっているのですがこの時期は一番多感な時期だと思います。ましてや受験期ともなると情緒不安定になりどうしていいかわからなくなってしまう生徒もいます。

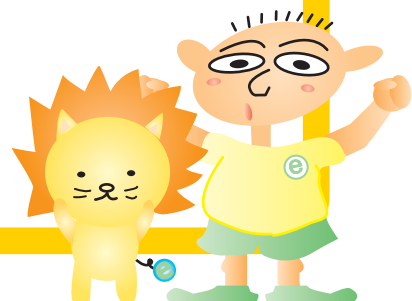
そうした生徒の気持ちを理解し近い位置で寄り添う、これは家庭教師、特にe-Liveの講師は必ずすべきことだと思います。勉強を教えても生徒が講師を信頼できなければ教わる気もなくなります。

また生徒が信頼してくれればスムーズに指導も進められます。こうした信頼を築くための努力をすることは私は毎回の指導のたびに心がけています。

受験まであと約3カ月となりました。これからが生徒にとっても我々講師陣にとっても正念場です。

気を引き締めて日々の指導をおこなっていきたいと思います。

今回はありがとうございました。



コメント

大城 講師

山梨大学 工学部 在籍



月間MVPに選んでいただきありがとうございました。
 念願のMVP。こんなに早く頂けるとは思っていませんでした。

e-liveを始めたとき「楽しい時間にしよう」と目標を立て今まで指導してきました。
 もちろん、僕も勉強することが好きではありませんでした。
 特に学校の授業なんて嫌だ嫌だとずっと思っていました。
 学校のように「e-live60分の指導時間はずっと勉強をしなければいけない」。
 こんなことを考えていたらe-liveが嫌いになってしまうどころか勉強自体にも嫌気を感じてしまいます。これではe-live本来の目的を達成できないし、講師である僕自身も指導したくなくなってしまうと思い、特に意識してきました。
 「上質な勉強方法、勉強に対するやる気を提供する」ことが重要であって問題を解くことは次と考えています。
 また、名講師といわれる人々はたくさんいて、僕たち大学生講師が彼らの指導力に敵うかといわれると正直無理です。
 その分、生徒と年齢が近く、同じ学生ということを活かして、「先生」というより「先輩」という感覚で親しんでもらうことや、学校の話、つい最近まで受験生であったということからアドバイスをしたりしてきました。

実際の指導で、生徒に「良い話が聞けました。これは是非使わせてもらいます」
 「学校の先生より分かりやすい、学校の先生と代わってほしい」
 「またよろしくお願いします」
 と言ってもらえたときは凄く嬉しかったです。

今回MVPに選ばれましたが、もちろん、担当している生徒やそのご家族、e-liveスタッフの大きなサポートの上、成り立ったものなのでお礼を申し上げたいと思います。

現在の指導に満足せず、より良い指導ができるように僕もこれから勉強です。
 担当している生徒に「あの時e-liveやっていた良かったよ」
 と思ってもらえる指導を目指して頑張ります。
 これからもよろしくお願いします。



コメント

浅井 講師

東京大学 文科一類 在籍



この度は月間MVPに選んでいただきありがとうございます。

自分なりに創意工夫して勉強を分かりやすく指導することはもちろん、コミュニケーションを通じて生徒さんと仲良く楽しく指導が進められるよう考えてきたので、こういった賞をいただけたのはとても嬉しいです。

e-liveの講師をやらせていただいて、生徒さんの成長を目の前で見れることが僕にとって何よりも嬉しいです。以前、理科の電気の分野がさっぱり分からないという生徒さんがいましたが、指導していく度に来るようになって「最近すごい解けるようになったよ！先生分かりやすく教えてくれてありがとう！」と言ってくれたのがよく印象に残っています。

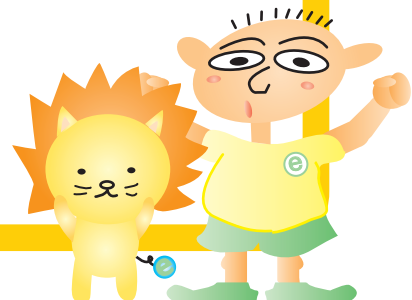
問題が出来るようになる喜びを他の生徒さんにも味あわせてあげたいという意味でも自分のモチベーションアップになりました。

僕がいつも生徒さんに伝えるようにしていることは、「やるときはやる、やらないときはやらない。」というオンオフの切り替えが大事だよ、ということです。例えば部活をやるべき時は部活をやり、勉強をやるべき時は勉強をやり、遊ぶときは思いっきり遊ぶということです。当たり前のことかと思うかもしれませんがなかなかこれが出来ている人はいないのではないかなと思います。少し意識するだけでも色々なことに対する心持ちが変わってくるのではないのでしょうか。

最後に生徒さんに...学生の時間は短いから、部活・勉強・友達と遊ぶこと・恋愛など色々ありますが、どれも中途半端になってしまわないよう思い切り取り組んで、青春時代を楽しんでほしいなと思います。

今回は本当にありがとうございました。

これからも良い指導を目指して頑張ります。



コメント

嶋田 講師

東京大学 理科一類 在籍



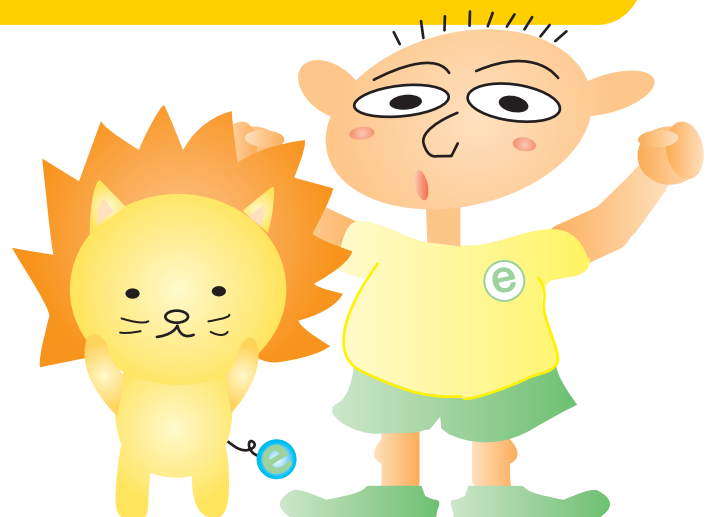
この度は月間講師MVPに選んでいただき、ありがとうございます。
たいへん光栄に思います。

生徒と接するとき、ただ単に知識を教えるだけでなく、勉強の面白さ、頭を使うことの楽しさといったものを伝えられるように努力しています。
教科書やテストには出てこない面白いトピックスを用意したり、眠くなった頭を活性化するのにクイズやパズルを使ってみたりと、いろいろ工夫しながら指導しています。

また、今やっている勉強が将来どんなことに役に立つのか、生徒に少しでもビジョンを持ってもらうために、大学の話を毎週のようにしています。
大学の講義で聞いた面白い話を噛み砕いて生徒に伝えるというのは、生徒にとってもいい刺激になるだろうし、自分の理解を深めるといった意味でも有用だと思います。

ただ勉強を教えるだけならいわゆる学習塾でもできます。学習塾の互換形で終わらぬよう、大学生だからできること、個別指導だからできることを考えて、これからも精進して参ります。

ありがとうございました。



コメント

中井 講師

福井大学 医学部医学科 在籍



この度は月間講師MVPに選んでいただきありがとうございます。
このような賞をいただけるなんて思ってもいなかったのが驚きと感謝の気持ちでいっぱいです。

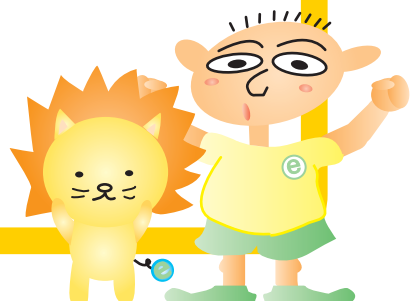
小学生、中学生の皆さん、勉強は楽しいですか？
机に向かっての勉強を思い浮かべると…楽しいっ!って答える子は少ないと思います。ではなぜ楽しくないのでしょうか。
いろんな理由があると思うのですが、一番多いのは『成績をあげなきゃいけない』というプレッシャーではないでしょうか。
それに対して、部活ってしんどいことも多いけどそれよりも楽しいって思うことの方が多いですね。それは自分の立てた目標に向かって頑張っているからだと思います。
音楽をやっている子なら、演奏会までに完璧に弾けるようになりたいとか、スポーツをやっている子なら、大会で勝ちたいって思うからみんな必死で練習する。その練習が辛くても必死で乗り越えようとする。その辛さ以上の喜びが大きな舞台にはあるからです。

勉強、受験も実は同じことなんです。楽器を新しく始める時、まず楽器の持ち方、弾き方、もう覚えることがいっぱいでパンクしちゃいそうになりますよね、でも少し慣れると楽しい!

そう! まさにこれが勉強と同じなのです! 因数分解って何? しーらないっ。これは楽器を持つことを放棄してしまったのと同じ。よくわかんないけどとにかく理解しようと頑張る、出来るようになってくる。出来る则ち楽しい!

ここまでたどり着ければ勉強は楽しいって思えるでしょう! 楽しいことはまたやりたいて思うから、自分で勉強しようとする。自然と成績もあがります!

みんなどこで詰まるかっていうと『理解すること』だと思います。学校や塾の授業だといろいろな学力の子がいるのでクラス全員が理解できる授業をするのって難しい。そこをお手伝いすることが私たち講師の仕事だと思います。分かるって楽しい!勉強って楽しい!って思ってもらえる授業が出来ると頑張りたいと思いますのでこれからもよろしくお願いいたします。



コメント

酒井 講師

東京大学 理科Ⅱ類 在籍



この度は講師MVPという素晴らしい賞に選んでいただき本当にありがとうございます。この賞のことはなんとなくは知っていましたが、まさか自分が選んでいただけるとは思っていませんでしたので驚きでいっぱいです。

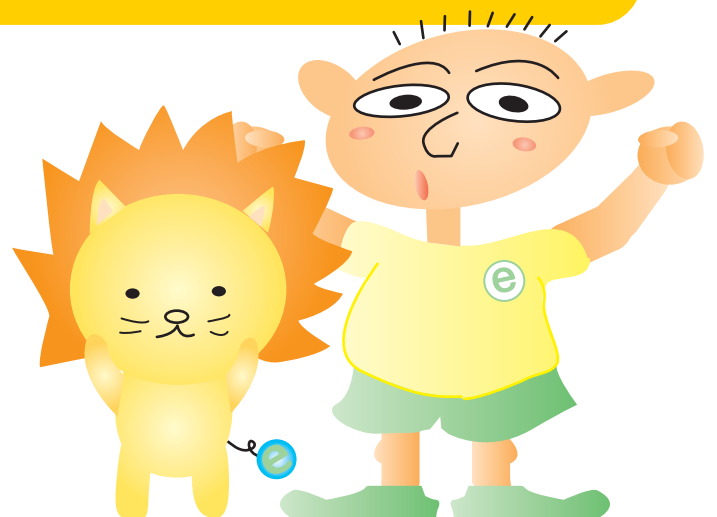
普段の指導で僕が心掛けていることは、「生徒自身に考えさせる」ということです。

僕自身がいち生徒として大学の講義を受ける中で感じることは、ただ教科書の内容を陳列させたり、問題の答えを淡々と述べたりする授業はつまらないということです。なぜそれがつまらないのか？それは、「自分の頭を使ってない」からです。自分の頭を使わずにただ事実の暗記をさせられるというのはつまらないです。でも、「自分の頭を使って考えること」それはとても楽しく面白いことです。自分の脳をフル稼働して問題の答えを見つけ出すこと、今まで見えてなかった意外な物事の関係性を見つけ出すこと、これらは一種の快感です。

指導している中で感じることは、この「考えること」の楽しさをまだ知らない人が多いということです。もちろん成績を上げて目標の高校に入ることも大事ですが、「考えること」の楽しさがわかればまた違う世界が見えてくると思います。

人は楽しいことは自発的にやり出します。そうすれば、わざわざ僕が生徒に「勉強強い」ことをさせなくても、自ら「学び、習い、考える」ようになるでしょう。そうしてくれるのが僕の理想です。

今後もより良い指導ができるように精進していきたいと思います。ありがとうございました。



コメント

武田 講師

北海道大学 歯学部 在籍



この度は月間講師MVPに選んで下さり、ありがとうございます。
選んで下さったことを光栄に思います。

私が指導の中で最もエネルギーをかけている点は、どのように生徒のやる
気を引き出すかを工夫することです。

生徒は一人ひとり環境も性格も関心の対象も違うので、一様にやる気を引
き出す方法は限られてしまいます。

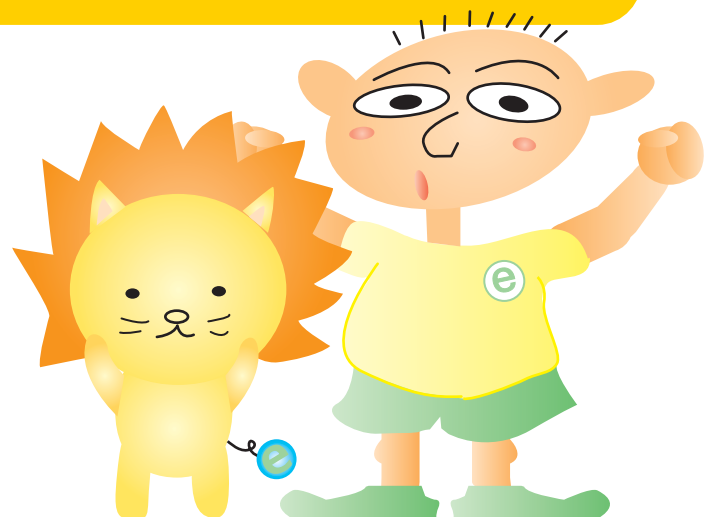
したがって、生徒の個性を大事にし、一人ひとりに合ったモチベーションの高
め方を考え、少しでも勉強に対して楽しいと思えるような指導の組み立てを
念頭に置いております。

時には自分が想像していたように指導を進められないこともあります。その
ような時は柔軟に方針を変更し、できるだけ密度の濃い時間になるよう努力
しております。

一方で、そのような失敗をする中で自分自身が学ばされることも多くあり、生
徒たちにも成長させていただいている実感があります。

最後になりますが、いつも支えて下さるe-Liveのスタッフの皆様、勉強に立
ち向かっていく熱心な生徒たちとそのがんばりをいつも見守って下さるお父
様、お母様に心から感謝致します。

今後も頑張っていきますので、引き続き、宜しくお願い致します。



コメント

中西講師

北海道大学 歯学部 在籍



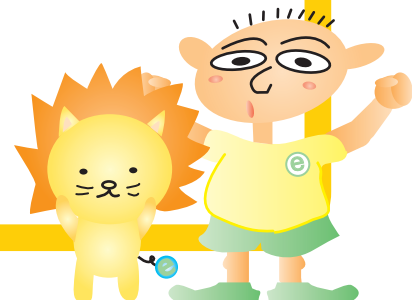
この度は月間講師MVPに選んで下さり、ありがとうございます。
選んで下さったことを光栄に思います。

私が指導の中で最も気を付けているところは生徒がわからないところを素直にわからないと言えるようにすることです。自分自身経験があるのですが、わからない問題を先生に質問したとき、最初のころはわかったふりをしていたのですが、そのままだとずっと理解できるようにはならないということに気づきました。わかるまでずっと質問できること、またわからない問題をわからないと言える先生であることはとても大切なことなんだと実感しました。

したがって、たとえ授業中であってわからないところは積極的に質問できるような環境であって欲しいという願いから、私はいつもわからないことは正直に言うように指導してきました。どのように伝えればより生徒は理解してくれるか、勉強を楽しいと思ってくれるか日々考えながら授業に臨んでいます。限られた時間をより密度の濃いものにするために今後も精一杯努力していくつもりです。

最後になりますが、いつも支えて下さるe-Liveのスタッフの皆様、勉強に立ち向かっていく熱心な生徒たちとそのがんばりをいつも見守って下さるお父様、お母様に心から感謝致します。

今後も頑張っていきますので、引き続き、宜しくお願い致します。



コメント

小林講師

高知大学 医学部 在籍



この度は月間MVPに選出していただきありがとうございます。

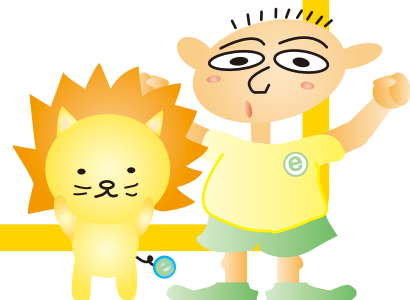
生徒さんからよくこんな相談をうけます。「どうやって勉強したらよいかわからなくて、ただなんとなく毎日を過ごしてしまって、気付いたらテスト当日になった。」テストで思うように点が取れない原因は、勉強の仕方が分からず、何もしなかったからというのが多いのではないのでしょうか。

そうならないように、僕は生徒さんに「長期計画」と「短期計画」を立ててあげるようにしています。長期計画とは、一か月ごと、定期テストごとに、問題集をどこからどこまで何回解くとか、難易度の高い問題を解けるようになるといった長期間の目標を決めること。短期計画とは、とにかく毎日何をするかノルマを設定すること。毎日やるべきことを決め、最低限それだけは必ずできるようにしてもらっています。小学生や中学生は、目標をはっきりさせ、計画をしっかり決めてあげると、なにをしたらよいか迷うことなく集中して取り組んでくれます。

毎日の短期計画を必死にこなしていくと、いつしか長期計画も達成されていて、自然とテストでも点が取れるようになっていく。そんな感覚を経験し、自信をつけてほしいと思いながら指導しています。一度自信がつくと、今度は自分一人でも勉強計画を立てられるようになり、自分の力で目標達成していくようになります。自分一人の力で勉強の成果を得られるようになるまでサポートすることが僕の役目だと思っています。

最後に、いつも指導しやすい環境を作ってくださいe-live関係者の皆様、温かく支えてくださる親御様、そしていつも楽しい時間にしてくれる生徒さんに感謝申し上げます。

今後も月間MVPに恥じない指導をしていきたいと思っています。



コメント

田原講師

京都工芸繊維大学 大学院 在籍



この度は、講師MVPに選出していただきありがとうございます。e-liveの講師として、名誉な賞を頂き、大変嬉しく思います。

私には指導で大切にしていることがあります。ひとつめは、生徒さんがe-liveの時間を楽しみにしてくれるような関係を築いていくことです。やはり、週に1度、楽しい時間があると、モチベーション高く日々の生活を送ることができると思います。これは、講師である私自身にも言えることで、まずは楽しく指導を行うことが大切だと考えています。

ふたつめは、生徒さんのご家族を大切にすることです。やはり、生徒さんと実際に毎日一緒に生活しているのは親御さんです。講師と生徒さんの関係がいかに良くても、おうちでの環境がストレスになっては自主的に勉強ができないと思います。環境作りの一環として、宿題の確認を親御さんにも一緒にやってもらっています。これにより、取り組みの中身を一緒に確認していくことで、会話が生まれます。こうした会話のきっかけが思春期の生徒さんが親御さんを大切に作るきっかけにもなると思います。私も中学生の頃から両親との関係が勉強の環境を良くも悪くもするという意識していました。私は、生徒さんと親御さんの良い環境をコミュニケーションから築き上げていくお手伝いができればと思っています。

このようなことを考えて指導をさせていただけるのも、やはりこの画期的なシステムを提供してくださるe-liveという環境があるからこそだと思っています。

いつも講師が指導に専念できる環境を整えてくださり、ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

